**公教育計画学会年報　第11号　公教育計画の現代的諸課題**

第11号にあたって　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 中村　文夫　004

特集１　教職員論　企画主旨　　　　　　　　　　　公教育計画学会年報編集委員会010

岩手県の県立学校の現状から見た「事務職員の多忙化」

―教職員の多忙化の抜本的解決の報告に向けて　　　　　　　　　　　加藤　　忠　012

スクールカウンセラーから見た教員の姿　 熊谷　由紀　026

特集2　高等教育論

高等教育政策の現在と課題　 大内　裕和　042

公教育計画学会第11回大会　公開セッション・公開シンポジウム報告

―2019年6月16日（日）於：石川勤労者福祉文化会館（フレンドパーク石川）

【公開セッション】「教職員への統制強化に抗する」

報告１　教員の多忙化への対応を通じた統制　　　　　　　　　　　 　田口　康明　059

報告2　学校多忙の現状とこれから

―先生と子どもたちの笑顔のためにできること 　山口　俊哉　065

【公開シンポジウム】「自由な授業・学校を目指して」

分けた場での教育が追求されている

―インクルーシブ教育を阻む行政の姿勢　 徳田　　茂　068

現場では、教育の自由が奪われている 　北川　 茂　073

「解雇自由」と「解雇4原則」　　　　　　　　　　　　　　　　　　 田村　光彰　075

基調報告を再考する　 大森　直樹　079

教育現場への統制強化の中で

―公開セッション・シンポジウムに参加して　 古河　尚訓　080

投稿論文

国際共通語としての英語を見据えた英語教育

―複言語・複文化主義の理念から 五十嵐卓司　084

研究ノート

不登校の子どもの自己教育運動 　日下部倫子　102

公教育計画学会第8回研究集会

「地域と公教育の行方」

―2019年3月16日　於：名古屋外国語大学K館508教室

地域社会に開かれた教育課程とは

―現代日本の教育政策の論理を探る　 元井　一郎　119

新自由主義的な教育政策に対抗する現実的な手法について　 戸倉　信昭　125

「子どもの危機」に学校・地域はどうかかわるのか　 住友 　剛　131

統制資料と解題

非正規教職員の実態とその考察（５）

―2018年度文部科学省教職員実数調から実態を考察する 　武波　謙三　144

書評

大内裕和著

『教育・権力・社会―ゆとり教育から入試改革問題まで』 中村 文夫　168

大森直樹著

「道徳教育と愛国心―「道徳」の教科化にどう向き合うか」 福山　文子　171

相庭和彦著

「現代市民社会と生涯学習論―グローバル化と市場原理への挑戦」 中西　綾子　174

堀正嗣編、栄留里美、久佐賀眞里、鳥海直美、農野寛治

『独立子どもアドボカシーサービスの構築に向けて』　 二見　妙子　177

宮澤弘道・池田賢市編著

『「特別の教科道徳」ってなんだ？

―子どもの内面に介入しない授業・評価の実践例』　 福山　文子　180

英文摘要　 Robin E.Sowaden　184

学会動向・学会関係記事

―会則・事務組織・年保編集規定等　 190

編集後記　 197